

〔大城 毅議員 登壇〕

○13番 大城 毅君 大城 毅でございます。一般質問に入ります前に、一言所見を申し述べます。本日、沖縄防衛局は、米軍の新基地をアメリカに差し出すために名護市辺野古の大浦湾の貴重な海に土砂を投入しました。私たち国民の貴重な税金を使い、戦争のための基地を、ただでさえ過重な負担を負わされているこの沖縄に、さらに多大な危険を押しつけるものです。完成までには1兆円でも足りないと言われていています。二度にわたる県知事選挙での県民の声に耳を傾けない政権に、県民投票で必ず改めて民意を突きつけるために頑張る決意を表明するものであります。今度の議会には、国民皆保険の最後の砦とされる国民健康保険税制度の財政健全化のためとして、税率改正すなわち値上げが提案をされています。町当局や担当者の皆様には大変苦しい提案ではあるというふうに私は理解をしております。国がこの国民健康保険のために1兆円も負担すれば、値上げどころか値下げが可能だと思います。この点でも政権のあり方は改める必要があると私は思います。町長には通告はしておりませんが、前回の選挙でも建白書を堅持するというふうなうたわっているわけですから、所感があるかと思えます。通告はしておりませんが、答弁を求めるわけではございませんけれども、もし、所感をお聞かせいただければ幸いです。思っております。それでは質問に入ります。

昼間、保護者が家にいない児童が集団で安心して過ごすことができる場として学童保育が大きな役割を果たしています。平成29年度の決算では町内20の学童クラブで727人の児童が利用しています。学童クラブの入所希望者、利用希望者がより利用しやすいものにしていくために取り組んでいきたいと思えます。その立場から以下、質問いたします。まず、現在取り組まれている学童保育の行政について。課題についてどのように認識しているのかお答えをいただきます。それから学童を利用したいけれども実際には利用できていないという子供がいますけれども、その実態をどのように把握しているかを伺います。それから実際に学童クラブを運営している方々の要望、ニーズがどうなっているか伺います。また、これも学童運営者の皆さんですけれども、今、学校以外のところで学童を運営している方々が多いということが反映していると思うんですけれども、送迎のサービスが必要になっているようです。この送迎あるいは長期期間中の子供たちのお昼、あるいは補助金を活用して運営しているところがほとんどですけれども、これを委託しているという方々も多くいると聞いています。その委託に関する費用あるいは学童支援員、処遇改善などへの支援をもっともっと強化できないかということでお伺いします。それから学校敷地内に施設を利用して学童の運用を進めてはどうかということでお伺いします。今進行中の、平成31年までの子ども子育て計画で小学校などの公共施設の活用も検討ということが記載されております。それとの関係でお伺いいたします。

次に登下校など、幼稚園、小中学校初め、多くの方々が利用する通学路の安全、生活道路の危険を排除して、安全に通行できる環境を確保するために質問いたします。幾つか具体的な場所を挙げて質問しますが、恐らくそのほかにももっと危険な場所があるかもしれません、そういう立場から議論をしたいと思えます。通学路の改善、前回9月定例会でも質問いたしましたけれども、そのときの答弁は、道路の拡幅は交通計画を策定し必要な検討をするということでした。その間の対応は白線やグリーンベルトということでありました。具体的に次の3カ所をいつ、どういうふうに行うのかお聞かせいただきます。まず、町道11号線、県道をまたいだところ。兼城392番地の赤嶺産業マンションの横の歩道についてどうするのか。それから同じく町道11号線ですけれども、宮平から兼城あたりですね。道路の両側に電柱が立って、なかなか交互に行ききれない、対面交通がたびたび妨げられるという場所です。それから兼城の、前回宮平と言いましたけれども、コマツの重機の向かいのローソンのそば、そこも非常に危険です。こういったところをどうするのかお聞かせいただきたいと思えます。それから言っている交通計画というのはどういう内容で、いつ策定をするのか。そしてその交通計画の中で狭い通学路を広げることが計画されるのかどうか、お伺いいたします。

それから3つ目に、大変具体的ですけれども、本部公園の駐車場の出入り口が、特に公園から出るときに、右に行くにしても左に行くにしても、特に左側、本部のほうからくる車がカーブになっていて、高低差もあって、勾配もあって、大変見づらいと、危ないという指摘があります。ここにカーブミラーを設置してほしいということでございます。以上についてお答えいただきまして、なるべく15分以内で終わりたいと思えますのでよろしくお伺いいたします。

○議長 知念富信君 町長。

12月14日（第2号）一般質問

○町長 赤嶺正之君 大城 毅議員の一般質問にお答えする前に、毅議員から要望がございました件に関しまして、所感の一端を申し上げたいと思います。議員各位ご承知のとおり、今辺野古の件に関しましては、岩礁破碎工事差し止め訴訟を初め、それからまた国、県の係争処理委員会ですか、そこでの審査が始まったという状況を考えますと、私、行政を預かる立場としては、それに対して踏み込んだコメントということは差し控えさせていただきます。建白書に関しましては、議員おっしゃるとおり、私も県民大会で決議されたオスプレイの配備反対、そして普天間の閉鎖、早期返還並びに県内移設の断念、そういったことを趣旨の内容としました建白書を携えまして、あれは平成25年でしたか、25年に、沖縄県内の市町村関係4団体、それから県議会の代表の方々、もちろん町村議会、市議会の代表の方々が東京で統一行動を行ったわけでございます。その件に関しましては、私もそれに賛同をし、支持をしてきたということはそういうことでございます。その流れの中で、やはり我々としましては、建白書を堅持して、沖縄県を挙げて、あの東京行動のように県内が一丸となって、この建白書の実現といいますか、それに向かって一致協力すべきじゃないかという考えはございます。そういう意味で、この昨今の辺野古の状況に関しましては、正直申し上げましてやるせないといいますか、残念といいますか、もうちょっと早目に何らかの方法で沖縄県全体と、それから日本全国でそういったことが、波が起こせなかったかどうかとも思います。そういうことで、この件に関しまして、私、この建白書に賛同したものとして正直な気持ちでございます。冒頭申し上げましたように、行政の立場もでございますので、それ以外の件に関しましては、これ以上踏み込んだコメントは差し控えたいということでご理解をお願いします。以上です。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の学童保育の充実を。(1)についてお答えします。学童保育の課題は児童1人につき1.65平方メートルの面積基準について、経過措置期間である平成32年度までに対応し、適切な定員数に対処していくことであります。

(2)についてお答えします。平成30年4月の調査では11名の待機児童がいます。今後は、来年2月ごろに行う町子ども・子育て支援事業計画の見直しに伴うアンケート調査で、学童利用の希望に関する実態を把握する予定です。

(3)についてお答えします。学童クラブ利用料につきましては、現在、一括交付金を活用してひとり親世帯と生活保護世帯へ月額5,000円の補助を行っています。今後もこの範囲内での補助を継続実施してまいります。

(4)についてお答えします。学童クラブを運営している方からは、先ほどの面積要件についての相談が多いことです。町としましても、平成32年度までに解決できるよう、学童クラブ側と一緒に取り組んでまいりたいと思います。

(5)についてお答えします。学童クラブへの支援につきましては、送迎事務関連、支援員の処遇改善について補助事業で対応しております。長期休暇での昼食につきましては、弁当持参や保護者負担のケイタリングで対応しております。

(6)についてお答えします。小学校の空き教室を利用する学童クラブ設置について検討しましたが、児童数の増に伴い、4つの小学校とも使用可能な教室がないことから、現時点での学校内への設置は考えておりません。

質問事項2点目の通学路の改善をどうするか。(1)についてお答えします。まず、①と③の、この両箇所については現場を精査し、どのような対策が可能かどうか、兼城区とも調整の上、対応を検討してまいります。②の箇所については、電柱管理者と協議の上、対応を検討してまいります。

次の(2)と(3)については関連しますので一括してお答えします。交通計画は平成33年度策定の予定で、渋滞の緩和及び交通の安全等、総合的に検討をいたします。また道路拡幅については、その計画の中で必要性について検討してまいります。

質問事項3点目の本部公園駐車場出入り口に必要カーブミラーをについてお答えします。カーブミラー設置については、設置に向けて検討してまいります。以上であります。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 通告外の質問にもお答えいただきましてありがとうございます。町長の思いはしっかり受けとめました。行政の長としての立場上、なかなか発言しづらいことあるかと思っております。できることについては力を合わせて取り組んでいけたらいいなと考えております。よろしく申し上げます。

それでは一般質問の中身ですけれども、まず、学童保育の課題についてですけれども、今ございましたのは、面積要件についての経過措置が平成32年までなので、平成33年度以降のどのように整えていくのかということで、適正の定員数にしていかなければいけない

12月14日（第2号）一般質問

ということでございます。現状の学童クラブの子供たちがこの1.65という新しい面積基準になると何名がオーバーするという計算に、私、これは平成29年度の数字を先ほど申し上げましたけれども、それとの関係で、あるいはもっと新しい数字があればそれでもいいんですけれども、はみ出すことになるのかお答えください。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 1.65面積要件で計算しますと、現在20学童ございますけれども、この面積要件を超えて子供を預かっている箇所が6カ所あるんですが、その中でほとんど5人以内ですが、5人以内ですね、オーバーしているのが。6カ所のうち3カ所が5人以上という計算で把握しておりますので、このあたりの6カ所に関しまして平成31年度までに解消していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 方法は、その面積を広げるか、あるいは人数を減らしてもらうか。その人たちが入れるように学童クラブを設立してもらうか、いずれかだろうと思うんですけれども、今どのような検討がなされていますか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 今、議員がおっしゃったように、面積要件に余裕があるところもまずございます。そこに関しましてはあと1クラスつくってもらう。あるいはオーバーしているところで、ほかに第2園を探してもらう。どうしても面積探せない、今の中で数人オーバーしているというところは面積要件に戻ってもらうというところを検討しています。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 それぞれ具体的な、現在の面積、建物の、恐らく賃貸でやっているところもたくさんありますし、いろんな事情もあろうかと思えます。一筋縄ではいかないというのか、いろいろな対応をしないといけないと思うんですけれども、ここについては是非引き続き、その面積要件がクリアできるように、当事者の皆さんと協議をしっかりとやっていただきたいと思います。それと学童保育の課題ということでお聞きしましたけれども、面積要件についてお話いただきました。特に沖縄県の学童保育についてずっと言われるのは利用料の問題ですね、後で聞いてもいますからありますけれども、全国に比べて余りにも利用料が高いと、ちょっと正確にはわかりませんが倍ほどもあるというふうな話もあったように思います。そういったことも課題だと私は思うんですけれども、行政のほうの認識はどうですか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 確かに全国報道されている中でも沖縄の保育料は高いということが言われてはおります。ただ我々も全国のほうをいろいろ調べてはいますけれども、同等のところもあるわけで、一律に全国より高いというものではなくて、平均した場合は高いというのは実情としては出ていると思えます。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 それからも一つ、これも後で出てきますけれども、公設民営あるいは公設公営、先ほど申し上げたように、学校の中に学童のスペース、あるいは施設を備える、役場が直接それを運営する。そういったスタイルだとか、あるいは役場が学校などにつくって運営を民間の方にやってもらうと、こういうスタイルもあって、町、それぞれ自治体ももっと直接に、南風原町のスタイルではなくて、もっと密接にかかわってこの学童を運営するというのが全国の太い流れで、沖縄ではそれがほとんどないと。浦添市などが、まだ本土のほうに近いというふうに聞いていますけれども、こういったことも学童の抱える課題じゃないかなと思っておりますけれども、行政はどのように認識していらっしゃいますか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 確かに議員がおっしゃるように公設民営あるいは学校敷地内の建設等ございますが、本町の場合はこれだけ児童数がどんどんふえて、子供たちの人数がふえている中で、4小学校ございますが、例えば4小学校に1つずつつくったとしても、全員がいけるわけではございませんので、やはりそこに学校内にある学童に行ける子と、地域に出てそこに行ける子となっていくしますので、実際問題として今あき教室はございませんから、できる状況にはありませんが、そういった部分がございますので、本町は今のよう形で民間を活用して、学童は今後続けていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 今の答弁は、私は、この現行するんでいる計画からすると、むしろ

12月14日（第2号）一般質問

後退した答弁だなど聞いたんですけれども、これでは先ほど申し上げたように学校施設の活用も検討するというところでうたわれているわけです。整備に当たっては小学校などの公的施設を活用した設置も検討しますとうたっているんだけれども、今の答弁はそれとは真逆というか、しかもその内容が、学校内の施設であったとしても、そうじゃない子供たちもどうしても出るんだから、民間に全部お願いしたいと、こういう答弁でしたね。それからすると、今の計画にある考え方とは全くかけ離れていますよね。そういう認識はございますか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 先ほども申し上げましたように、確かに計画、この当初の時点ではそれも検討してまいります。検討した結果、あき教室がない状況でございますので、設置できる状況ではないということから先ほどの答弁でございます。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 こだわりますけれども、わかります。今むしろクラス増が各学校で進んで、中学校の子供たちの施設を整備するのが、当面の課題ですから、それはそれでわかりますけれども、学校施設も検討するというのはうたってあって、検討したけれどもあき教室がないから民間に全部任せるということになる、考え方が違うわけです。学校施設が今どうなっているかということ置いておいて、その問題ではなくて、それも検討するんだという考え方は捨てるということになるわけですから、これはちょっと理屈が違ふと思いますが、改めて答弁ください。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 計画ではそれも含めて検討しますので、検討した結果、今現時点ではつくれない状況でございますから、現時点では、先ほど答弁したとおりの考えということには変わりはありません。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 今の段階で、学校内につくれと私言っているわけではないんです。考え方としてね。公共施設の、小学校の中に学童はもうつukらないんだという方針に転換するのかということを知っているんです。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 つくらないとも言っておりませんし、現時点ではそういうことが、検討した結果、現時点ではつくれませんので、今、学童のことにしましては、現在、民間のほうにお願いしていますので、現時点ではその方向で行くしかないということでございます。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 現時点ではということで限定づければ、そのとおりで全く何の異論もないわけだけれども、活用できる状況であれば活用するというに違いはないんですね。このことを確認します。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 活用できる環境が整ってくれば、当然それは検討していくものだと考えています。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 安心をいたしました。今すぐやれというわけでもないし、学校の教育に必要な施設がないのにやれという無茶な話をしているつもりはありません。誤解があったら困りますので、それを申し上げておきたいと思ひます。

先ほどは本年4月の調査では11名が待機学童というか、いらっしやるということで聞きました。この調査はどのような方法でなされましたか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 20学童の協力を得て、そこに申し込みをしてきた方で入れなかった方、ある方、Aという方が3カ所申し込んだりする場合があるので、全園からもらって、そこをチェックして、実際に入れていない子が11人いたということになってます。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 わかりました。同じ方が二、三カ所当たることは十分あり得ますので、そこもチェックして11名の方が行けなかったのを把握したということですね。さらに来年の2月ごろに見直しに伴うアンケートを行って、それを見て検討するというのでした。先ほどの面積要件との関係でいえば、全体として補足するわけですから、それも含めて、当然新しい計画ですね、これは平成32年度以降になるわけですから、当然そう

12月14日（第2号）一般質問

さるわけですね。31年度も不足、これは平成31年度のあれですけれども、面積要件の是正がされていくということであれば当然細くするわけだから、新しい学童の取り組みというか、そういったものを促すということですね。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 先ほども対応策を含めてご説明しましたが、面積的にまだ余裕があるところもあるので、そういうところを調整すると、20学童でももしかしたらおさまる可能性もございますので、そのあたりは各学童クラブと調整をしながら、アンケートで量の見込みを見ながら検討してまいりたいと思っています。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 わかりました。今、児童館のこれからの充実だとか、あるいは各学校でも少年野球だとかサッカーだとか、いろんなチームがあって、放課後はそこで過ごすというお子さんも多いわけですから、学童クラブに是非入れないといけないという家庭が実際どれぐらいあるのかというのは、是非しっかりと調査をしていただきたいと思えます。この調査の方法ですけれども、どういうふうな形で調査をなさいますか。計画作成のための利用の調査ですね。どういうふうに、方法を教えてください。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 5年前に計画をつくった際にもアンケートをとっています。無作為抽出で算出しますけれども、その仕様書はまだ整えておりませんので、ほぼほぼ前回と同じような方法で無作為抽出のアンケートになるかと思えます。件数はまだです、具体的なものは。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 わかりました。是非正確なニーズが把握できるように取り組んでいただきたいと思えます。

利用料の問題ですけれども、今、月額5,000円の補助を、平成29年度の決算書の処理などを見ますと、これまではひとり親世帯だけが対象だったけれども、生活保護世帯、逆でしたか、広げたということでしたか記載されておりました。さらにこれを、これはまたお金の問題になってしまうけれども、就学援助の対象も今、その周知も広がって活用も多くなっているというふうに聞きましたが、その中でももちろん学童に、親の家庭の都合でほかの部活もあるけれども、学童にしか行けないと、あるいは学童が一番いいという判断でなさる家庭もあるかもしれません。そういったところに支援を広げていくということは、今後検討していただきたいと思えますけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 現在はひとり親世帯の方とか、生活保護世帯の方への補助でやっております。学童に通えないといえますか、放課後の居場所が必要な子供にとっては児童館というのもひとつの、十分利用できる場所がございますので、現時点におきましては、この学童の利用料の助成については現状のままやっていきたいと。児童館のほうでしっかり放課後の居場所づくりを充実させていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 これは財政状況も当然、十分検討しないといけないわけですから、ただ検討はしていただきたいということをお願いにとどめたいと思えます。これも先ほど答弁で、今送迎だとか支援員の処遇改善などは制度があって、それに基づいて支援しているということですので、その制度をもっと拡充しなければ単独の拡大はなかなか難しいと私も思いますので、これについては国や県の制度をもっと拡充できるように、それはまたそれぞれの立場で取り組んでいきたいと思えます。ただ、実際私がお話を聞いた皆さん方の中からは、夏休みなどのときの昼食などについても温かいものを提供したいということもありましたので、これは引き続き私も方法などを検討しながら相談をしていきたいと思えます。これについては終わります。敷地内ということについては、先ほども議論いたしましたので、先ほどの議論でおさめたいと思えます。

通学路の問題に移ります。1と3については地域と調整した上でということでしたけれども、どういうふうなことを調整しようとなさっているのか、お聞かせいただければと思います。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 お答えします。幅員もそれぞれ違うものですから、5.6メートルから4メートルちょっとくらいの間であるんですね。ですので、5メートル50ぐらいのほうは、私のほうとしてはグリーンベルトが設置できるという考え方でいます。そこにも足りないようなところがあつたりするものから、ちょっと無理してグリ

12月14日（第2号）一般質問

ーンベルトを設置するところを設けるか、あるいは白線にするか。また5メートルにも満たないものにもあります、4.5メートルとか、それぐらいの幅員のところもあるものですから、そういうところに関しては路面標示で、速度を落としてくださいという標示を入れるとかですね。この辺また地域ともそうですけれども、与那原署とも相談しながらいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 もちろん実際利用する皆さん方が一番大事ですので、その要望などを把握して、早くしやすいというのかなと、その自治会と協議なさるといことは、十分に進めていただいて、なるべく早く、本当に朝夕、特に朝ですね、時間は限られているわけですから、集中して子供たち、先ほどあった体重20キロの子供が8キロのランドセルを背負って歩いていたり、雨の日は傘を差していたりする中ですから、運転者もみんな時間に追われて急いでいるわけですから、事故が起きたら危ないなというところもありますので、是非これを急いで進めてほしいと思います。具体的に調整もあるから、相手があることですから簡単にはいきませんが、いつごろまでにやろうというのがありましたらお答えください。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 地域ともそうですけれども、与那原署のアドバイスとか、そういうのも聞きながらいいかと思っておりますのでちょっと時間もかかるかと思っております。ただ、私たちの目標といいますか、それとしては来年度ぐらいではできるように頑張っていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ありがとうございます。平成33年度には交通計画というものをつくりたいということでした。これは、ちょっと前もって話をすればよかったんですけども、次の問題ともかかわりますが、計画書をつくった上でないと事業の導入ができないとか、そういったふうな意味での計画だということでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 交通計画はなくても、事業を導入したりできる場所もありますけれども、交通計画を立てた上で、どちらかといいますと町全体の計画、町全体の計画はまた隣市町村とも、リンクも考えながらつくっていくわけですが、それも考えながら、トータルとして道路の必要性というのでも出てきますので、またその中で考えていかないと、何というんですか、つくったけれども、無駄になるというか、そういう可能性もないとも言えませんので、要はつくったけれども、やっぱりここは面整備が必要とか、そういうことになりますと二重投資とかということになりますので、適切に計画は入れてから、拡幅とか新規の道路をつくったほうがいいだろうと考えています。またそれに関して国の法律でも、交通政策基本法というのができて、市町村もこういう計画をつくりなさいとありますので、こういうふうに策定に向けて取り組んでいきたいと考えています。

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 私、先ほど具体的に指摘した3カ所、特に1と3については、ここで例として挙げた1番と3番については交通計画があるとかないとかとは別に、両方の地権者との関係を、拡幅するとすればなるわけだから、もちろん財政の問題もありますけれども、また当然、町全体を見渡して、私、いっぱい見渡しているわけですから、そこは是非町全体としてすばらしい計画をつくって、危険なところはもちろん優先順位もあるでしょうから、私は挙げた3つが必ずしも1番だとは思っていませんから、そこはより危険なところから一つずつよくしていくということで頑張りたいと思っております。

今言った、交通計画の内容については今少し答弁がありましたけれども、改めてこの計画の中身、もうちょっと詳しく説明いただけますか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 お答えします。国のほうで言っている交通政策基本法の中では、こういう考慮をなささいというのがあるところとして、増加する交通需要に対する、可能な交通、あとは済みません、訂正しましょう。これからちょっと読み上げます。交通機能の確保、向上、あと環境負荷の低減、適切な役割分担と連携、交通安全の確保というのが基本理念という形になります。要は需要に合った交通をしっかりと提供なささいというところと、あとはそれは環境負荷に軽減したものじゃないとだめですよ。適切な役割分担というのは自動車だけではなくて、公共交通、そういうものも含めて検討なささいと。あとは交通安全という大きな柱になっています。

12月14日（第2号）一般質問

○議長 知念富信君 13番 大城 毅議員。

○13番 大城 毅君 ありがとうございます。私、この通学路に、通学路というふうに言っていますけれども、南風原町は道路の拡幅とかバイパスなど、大きな道路がメジロ押しというか、そういう印象が多分町民の皆さんにも、よその県民の皆さんにもあると思うんですね。その一方で生活道路、住民が日ごろ歩いて使う道路、こういったところ是非見落とさずに、先ほど安全のことは3番目か4番目にあるようではありますが、そこに是非着目して、道路はいっぱいできて車を持っている人にはいいかもしれないが、歩いて生活する上で非常に危険が残ったということにならないように、そこを是非見落とさずに、私もそのつもりでやっていきますけれども、役場においてもそこを是非しっかりやっていただきたいというのが私のこの質問の中身であります。是非そういった点でハードだけではなくて、学校教育の側からも福祉の側からの視点をしっかり持っていただきたいと要望いたします。

最後にカーブミラーについては早急にやるということですので、私は1つだけの指摘でありましたけれども、是非これも、さっき言った趣旨で必要な箇所を計画的に整備していただきたいということで要望して終わります。